



てんとんだよい

児童発達支援

放課後等デイサービス

令和 7 年 8 月 25 日

てんとん♪ 1くみ・2くみ

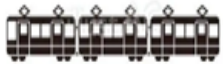
NO.65

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏も子どもたちはそれぞれに色々な体験をしたようです。ご家族と過ごした時間や、地域の行事、外での遊びなど、夏の思い出がたくさん出来た事と思います。療育の場でも、夏を感じる活動を取り入れながら子供たちの「できた!」という経験を大切に過ごしました。水遊びや感触あそび、制作活動ではそれぞれの個性が表れ、笑顔溢れる姿が見られました。

今月も暑さに配慮しつつ、室内での身体を使った遊びを工夫していきます。

施設長 峯野



1くみ プールや社会見学など、夏ならではの体験をたくさん楽しんだ子供たち!送迎では夏の思い出を元気に話してくれる姿や疲れてぐっすり眠る姿が印象的でした。それぞれに素敵な思い出ができたようで、嬉しく思います。



2くみ お盆休みが明け、久しぶりに会う子供たち。〇〇に行った!△△した!□□と会った!と色々な話を聞かせてくれるところから始まりました。プールじまいの寂しさを打ち消すように、ボール遊びや条件付きだるまさんが転んだ、トランポリンなどでお部屋を最大限に使い、身体を動かしています。

“発達障がい支援の最新の考え方”

・発達障がいの理解の広がり・
かつて発達障がいは「できない部分」に注目されがちでしたが、現在は「ニューロダイバーシティ（神経多様性）」の視点が広がっています。

これは、発達障がいを「病気」や「欠陥」ととらえるのではなく、能の働き方の多様性として理解しようとする考え方です。

世界的にも、教育現場や社会全体で「強みを活かし、苦手を補う」支援が重視されています。

おしえて!くまてん



8日に森ノ宮のモビリティタウンへ遊びに行ってきました。自動運転システムのバスに乗ったり、鉄道の過去&未来を勉強したり!自分たちで色を塗った車を画像に映し出し、レースをした時は一番盛り上がっていました。

